

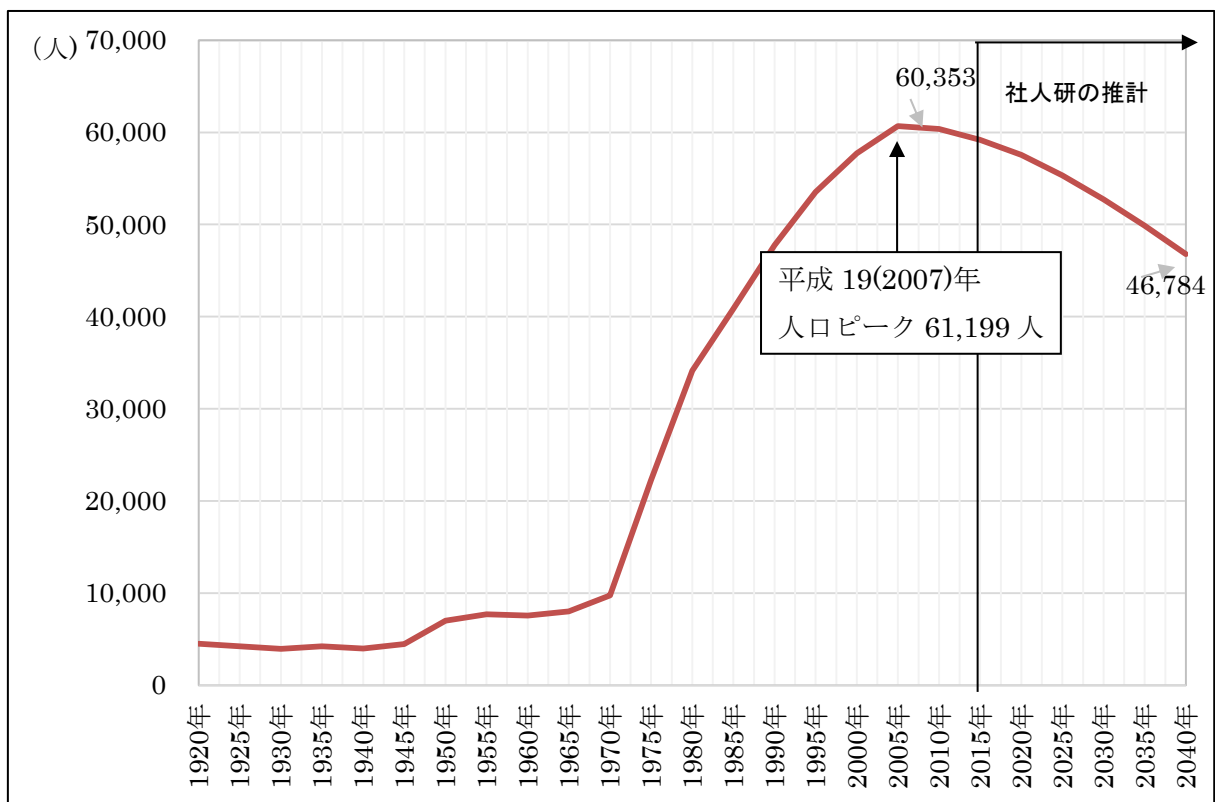
北広島市の現状について

1. 市の人口動向

北広島市は、明治 17 年に開拓が始まり、宅地開発、工業団地の造成、都市施設の整備などが順調に進められ成長してきました。

特に昭和 45 年の道営北広島団地の造成を契機に急激に人口が増加してきましたが、平成 19 年の 61,199 人をピークに人口は減少に転じています（図 1）。

【図 1 総人口の推移と将来推計】



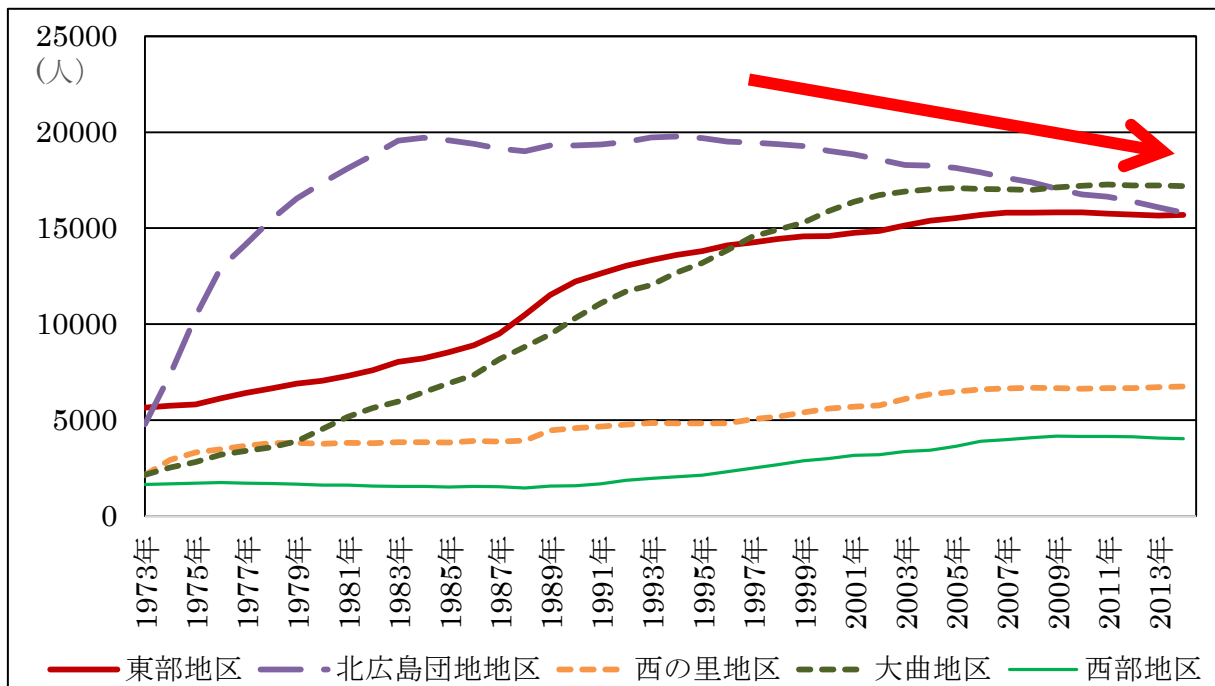
※2010年までは総務省「国勢調査」、2015年以降は社人研推計値より作成

2. 北広島団地地区の人口動向

北広島団地地区は、まちづくりの核となる住宅団地として昭和 45 年に造成が開始され、1980 年前半に約 2 万人まで成長しましたが、その後、段階的な世代の入れ替わりが行われなかったことから、市内で最も高齢化率（42.3% H28.4）が高く、人口減少は他地区と比べて顕著となっています。（図 2）

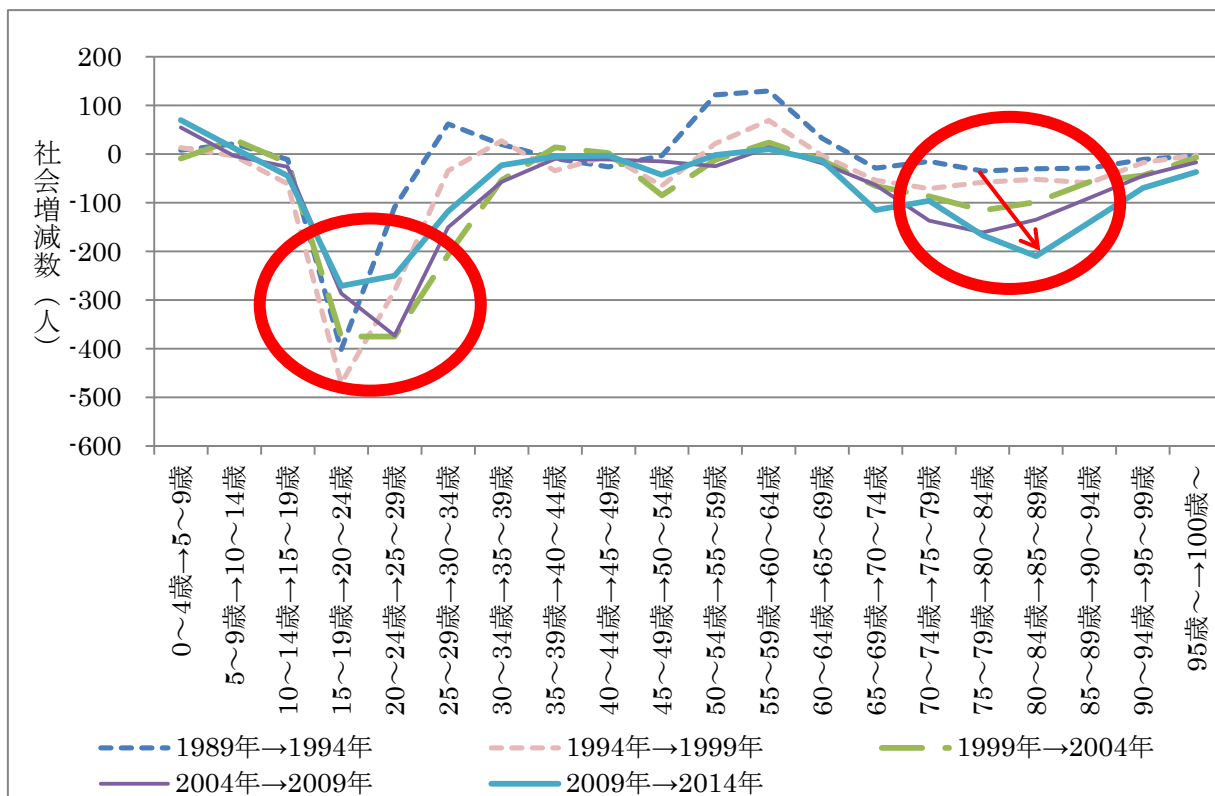
また、10 代後半から 20 代後半において大幅な転出超過の傾向が見られ、さらに急速な高齢化の進行に伴い、70 歳以上の人口減少も大きいことが特徴です。（図 3）

【図2 地区別人口の推移】



※北広島市「住民基本台帳」より作成

【図3 北広島団地における年齢階級別人口の推移】



※北広島市「住民基本台帳」より作成

3. 総合戦略の策定と「住み替え支援事業」の位置付け

国が進める地方創生の実現に向け、北広島市は、人口の将来展望を示した「人口ビジョン」と、人口減少に歯止めをかけ将来にわたって活力あるまちを維持するための施策を盛り込んだ「北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年3月に策定しました。

今後の市の発展のためには、北広島団地地区の再生が必要不可欠であると考え、団地地区へ新しい人の流れをつくり、再びまちをけん引する地区として成長することを目指し、その一つの施策として「住み替え支援事業」を実施することとしています。